

大雨等による災害が心配された台風27・28号でしたが、当事務所管内では被害を受けることはありませんでした。台風通過後はすっかり秋の気配となり、朝夕はひときわ冷え込むようになってきました。

TEC-FORCE隊員 無事帰還

台風26号による豪雨で甚大な被害を受けた伊豆大島へ、TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)第2陣として10月22日から派遣されていた大塚副所長、高橋設計係長が、第3陣との引き継ぎを終え28日に無事帰還して帰ってきました。台風27号が接近する中での調査ご苦労様でした。

◇◇ 高橋係長の感想 ◇◇

越美班は、最も被害の大きかった大金沢の源頭部調査や、台風27号通過後の避難命令解除のための調査を行いました。

台風27・28号が接近する中での調査は、現在の河床状況を出る限り把握するため、明るい日中は外業、資料のとりまとめは本部帰還後と、時間に追われる行程となりました。

現地は、被災範囲が広く、主要な道路は通行可能となりましたが、溪流状況調査はかなりの距離を徒歩で移動するため、肉体的にかなり疲れました。また、大塚副所長においては、中部地整の隊長も兼務され、マスコミ対応も多く、隊員の健康管理等にも気を配られましたので、精神的にもお疲れの様子でした。無事任務を終え28日に第3陣に引き継いで帰路につきました。



伊豆大島の被災状況



大金沢の源頭部を調査する越美班
(眼下は被災した元町)



「TBSへの取材対応」
大塚副所長より
砂防堰堤の効果を説明
(大金沢本川堆砂工にて)

北和中学生が土砂災害について学ぶ

10月25日に揖斐川町立北和中学校2年生の35名が、総合的な学習の時間を利用し、揖斐川町で起こり得る土砂災害について学ぶため、当事務所へ来所されました。

岩男事務所長より揖斐川上流域の自然災害と砂防堰堤の役割について座学を行ったあと、事務所1階に展示してある模型等を使い砂防堰堤の効果等を説明しました。生徒さんは熱心にメモを取りながら聞いたり、模型を自分で操作して確かめたりしていました。



生徒さんからの質問に
答える岩男事務所長



模型を使って砂防堰堤の
役割を説明する浅野主任

砂防工事の安全技術向上に向けて

砂防工事安全技術協議会主催の安全技術研修会が10月23日に開催されました。研修会では、現場レポートとして八草川山腹工事(施工:株久保田工務店)及び外津汲内谷(とつくみうちたに)砂防堰堤工事(施工:株所組)より、現場の安全対策についての取組事例が紹介されました。

当事務所からは、昨年度から現在までに事務所管内で発生した事故内容や要因、中部地方整備局管内における平成25年度上半期の事故発生状況について説明すると共に、事故ゼロ・災害ゼロに向けた取組強化をお願いしました。



安全施工をお願い
する岩田出張所長

旬な現場をご案内 = 八草川 =

10月30日に岐阜県建設技術協会(県及び市町村の建設関係職員)68名の方を、揖斐川町坂内川上(さかうちかわかみ)地先で行われている八草川(はっそうがわ)山腹工事(施工:株久保田工務店)にご案内しました。



川と海のクリーン大作戦

10月25日に本巣市建設協会が行った根尾川のクリーン大作戦に、当事務所の工事を担当する現場技術者らも参加しました。当日は台風27号の接近による大雨の中、ずぶ濡れになりながらの作業でした。なお、事務所職員が参加する予定だった、揖斐川町のクリーン大作戦は、台風27号の影響が心配されたため、事前に中止の決定がされました。



日ごとに秋も深まり、標高の高い現場では紅葉が見頃を迎えました。現在当出張所管内では18箇所です工事を進めています。工事の進捗状況等は事務所HPでもお知らせしています。「[ココ](#)」をクリックしていただくと確認できます。



貝月山の紅葉

堰堤完成に向け = 敷原谷・内容 =

砂防堰堤の年度内完成に向け、新たに2箇所です工事が始まります。本県市根尾長嶺(ねおながみね)地先の敷原谷(しきはらたに)及び揖斐川町外津汲(とつくみ)地先の内容(うちたに)において、急激な土砂流出による河床上昇の抑制や、流木による河道閉塞を防止し、洪水被害を軽減するため砂防堰堤を建設しています。施工は敷原谷は田中建設工業(株)が、内容は(株)ヤマモトが行います。



敷原谷第1砂防堰堤



外津汲内容第1砂防堰堤

締固めムラをなくす = 越波谷 =

本県市根尾越波(ねおおっぱ)地先です工事を進める越波谷第3砂防堰堤資材運搬道路工事(施工: 杉山建設(株))では、現在補強土壁の施工を行っています。中詰土の転圧にあたり、トータルステーション転圧管理システムを使用して施工しています。このシステムは、盛土材の締固め転圧回数を自動計測し、パソコン画面に施工範囲全面を色の変化により表示します。締固め回数の分布状況を確認しながら連続的に管理し、盛土材の締固めについて品質向上を図っています。

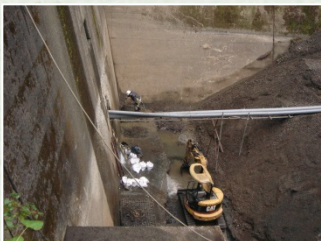


画面を確認しながら中詰材の締固め

前腹付けCoで補強 = 上葛谷 =

当出張所管内では、現在6箇所です堰堤補強や流木止めを設置するなどの機能向上を行っています。本県市根尾西板屋(ねおにしいたや)地先です工事を進める上葛谷(かみくずたに)砂防堰堤流木対策工事(施工: (株)所組)は、唯一堰堤前面に腹付けコンクリートを打ち増す工法で行っています。

地形的に堰堤下部に工事用道路を作る事が出来なかったため、掘削土砂等は堰堤上部よりクレーンで吊り上げています。ようやく基礎となる岩盤まで達し、コンクリート打設へ移ります。



小型BHも吊り下げて施工

右岸打設完了 = 地谷 =

揖斐川町坂内坂本(さかうちさかもと)地先です工事を進める地谷(ちたに)第2砂防堰堤工事(施工: 西建産業(株))では、今年度工事を行う予定の右岸側ブロックの施工が完了しました。今後は仮設水路の切り廻し等を行い、左岸側のブロックを施工します。



不可視部分の段階確認

景観に配慮します = 下辻谷 =

揖斐川町小津(おづ)地先です工事を進める揖斐川流木対策工事【下辻谷(しもつじたに)工区】(施工: (株)ヤマモト)では、鋼製流木止めを設置するため、既設堰堤の水通し部の取り壊しが完了しました。

本堰堤は、東海自然歩道に隣接しており、景観に配慮して化粧型枠を使用して建設してあります。流木止め設置後も景観が損なわれないように創意工夫を重ねて施工します。



景観に配慮した砂防堰堤

土石流の威力 まざまざ = ドン谷 =

揖斐川町坂内坂本(さかうちさかもと)地先です工事を進めるドン谷溪流保全工事(施工: 西建産業(株))では、床固工を施工するための床堀中に、過去の土石流で堆積したと思われる転石がゴロゴロと出てきます。今工事で最大のものは直径約4m、想定重量約45tもありました。こんな巨大な転石を伴って流下する土石流の威力のすごさを改めて実感します。

なお、この転石は施工上邪魔なので、破碎して撤去します。この作業も一苦労です。



過去の土石流堆積物



クマタカ通信をメール配信します。配信希望の方は下記宛に「配信希望」とメールを送信して下さい。

また、クマタカ通信の感想やご意見もお待ちしています。

発行 国土交通省中部地方整備局

越美山系砂防事務所 揖斐川砂防出張所

〒501-0619 岐阜県揖斐郡揖斐川町三輪2303-3

Tel: 0585-22-3526 Fax: 0585-22-6626

E-mail: ibigawa-sabo@beach.ocn.ne.jp